



加賀市長からのメッセージ 第019号 2月27日配信

加賀市では昨年3月からライドシェアの取り組みを開始し、1年が経過しました。人口減少が進む地方において人の移動だけでなく、物流や宅配サービスの維持は大きな課題となっています。同時に、タクシーやバスのドライバー不足も極めて深刻な状況です。

こうした課題を克服し、持続可能な地域交通および流通を実現するためには、「貨客混載」の仕組みが不可欠です。「貨客混載」は、単なる輸送の効率化にとどまらず、地域住民の移動手段を確保しながら物流を支える重要な役割を果たします。加賀市ではどこの地域よりも早く未来を見据え、より柔軟で実用的なシステムの確立に向けた取り組みを進めていくことを目的に、公共ライドシェアドライバーによる貨客混載実証事業を開始いたします。

人口減少という厳しい現実と直面する中、地域の足を確保し、暮らしやすい街を維持するためには今回のような新たな仕組みが不可欠です。加賀市はこれからも利便性を高め、効率化を追求しながら、持続可能な地域交通の実現に向けて歩み続けます。

(令和7年2月27日号)

加賀市長 宮元 陸